

はじめに

西 成 彦

「国民国家と多文化社会」をキーワードにして、これまで9回シリーズで連続講座を開催してきました。私の理解では、国民国家モデルが一方で存在しているにもかかわらず、他方で、文化の多様性が、表向き標榜されるにせよ、陰蔽されるにせよ、動かしがたい形で現実に存在している。この二つを突き合わせることによって今後の世界をどう見ていくか。それを尺度にどう歴史の見直しが可能かという観点から、私たちはさまざまな地域を取り上げてきたつもりです。そして、この一連の企画の中で、9回目のテーマは沖縄でした。そして今回は台湾です。

昨年、台湾で総統選挙がありました。政治に踏み込みながら過去の歴史を問い直していこうとする作業と平行して、今後の東アジアの情勢を占うということも意図した上での構成です。今回の台湾シリーズについては、台湾・沖縄という連続性をも含めて考えたい。台湾に関しては、日本もまたそうであったかもしれない場所としてこれを見てみたいと思うのです。それを基本に5回の催しをつなげていきたいと思っています。5回+αの試みとしては、台湾で作られた映画も4回連続上映する予定です。また沖縄シリーズと関連のある映画の上映企画も考えています。これらも含めた全体として第10シリーズの主旨をご理解いただければと思います。